

# 東京2025世界陸上におけるこどもの参画

- 東京2025世界陸上財団は、開催基本計画において、大会へのこどもの参画を、大会のミッション、ビジョンを実現するために重要な取組として位置づけており、東京都やスポンサー等と連携しながら、こどもの参画を進めていきます。

## ■ 基本方針

### ミッション

多くの人々に夢や希望を届ける  
今後の国際スポーツ大会のモデルを示す

### ビジョン

東京ドリーム 東京ブランド 東京モデル

## ■ 大会の成功に向けた取組と、未来へ紡ぐレガシー

ビジョン実現に向けた取組を通じて、大会開催で得られるかけがえのない経験をレガシーとして未来へ紡ぎます。

東京  
ドリーム

### アスリートが活躍する最高の場を創出

満員の国立競技場の声援の下で、自らのベストを尽くすことができる最高の環境を提供します。

東京  
ブランド

### 街全体でのおもてなし

成熟した社会インフラや温かいおもてなしで歓迎し、東京の魅力を体験できる取組を展開します。

東京  
モデル

### こどもたちへの観戦機会等の提供

未来を担うこどもたちに大会を観戦する機会を提供し、夢や希望を育む契機にしていきます。

### 多様な人々の大会への参画

年齢・障害の有無に関わらず誰もが、スポーツの素晴らしさ、多様な価値観を認めあう大切さなどが実感できるよう、大会への参画を推進します。

### 戦略的なPR

様々な広報媒体と連携した広報や気運醸成の取組、大会ロゴを用いた広報PRを展開し、大会の魅力効果を効果的に発信します。

### 環境負荷の低減

省エネの推進、再エネの活用、環境に配慮した輸送方法の取組等を通じて、脱炭素社会の実現に寄与していきます。

スポーツ文化の  
広がり

次世代への  
価値の継承

ボランティア文化  
の一層の発展

未来につなぐ  
世界との絆

環境配慮行動の  
気運醸成

持続可能な  
大会モデル

## 開催基本計画のビジョン実現に向けた取組

- 開催基本計画におけるビジョンの実現に向けた、こども参画に関する取組は次のとおりです。

### ■ 東京ドリーム～ドキドキ、ワクワク、みんなの笑顔が織りなす大会の実現～

#### 多様な人々の大会への参画

- 未来を担うこどもたちが、大会を通じて、新たな視野を広げるとともに、スポーツの素晴らしさを感じられるよう、大会の準備・運営に参加できる機会を設けます。

### ■ 東京モデル～明日への希望と持続可能な未来へのステップ～

- 世界最高峰の大会に直接触れることで、未来を担うこどもたちが夢や希望を育み、学び成長するとともに、みんながスポーツをより身近な存在として再発見することで、スポーツが持つ様々な価値を次の世代へ繋げていきます。

#### こどもたちへの観戦機会等の提供

- 都内や東日本大震災の被災地のこどもたちに大会を観戦する機会を提供し、夢や希望を育む契機にしていきます。
- こどもたちと陸上アスリート等との交流や競技体験、競技についての学び等を通じて、スポーツの素晴らしさに触れ、世界の人々をより身近に感じられる機会を提供し、こどもの学び・成長を支援します。

## 大会が未来へ紡ぐレガシー

- 競技観戦や競技体験を通じて、未来を担うこどもたちが陸上競技を身近に感じ、スポーツを始めるきっかけに繋げていくとともに、フェアネスなどスポーツの持つ価値を次世代に継承していきます。

## WAにおけるこども関連の取組

### ■ Kids Athletics

- WAは、陸上の力、体を動かすことを通じて、世界中のこどもたちが、よりアクティブになり、スキルと自信を伸ばし、そして生涯にわたりスポーツに親しむことを促す、Kids Athleticsプログラムを展開しています。
- WAは毎年、5月7日の Kids Athletics Day に向け、世界中のこどもたちが取り組むことのできるテーマを決定しています。2025年のテーマは「リレー」です。
- WAのKids Athleticsと連携し、東京2025世界陸上におけるこどもの参画を推進していきます。



## ■ 東京ドリーム～ドキドキ、ワクワク、みんなの笑顔が織りなす大会の実現～

### 多様な人々の大会への参画

- 未来を担う子どもたちが、大会を通じて、新たな視野を広げるとともに、スポーツの素晴らしさを感じられるよう、大会の準備・運営に参加できる機会を設けます。

#### 【主なこれまでの取組内容】 ※令和7年4月時点

- 東京2025世界陸上をテーマとして、小中学生によるワークショップを開催しました。「選手へ応援の気持ちを伝える取組」や「大会の運営に参加する取組」などについて意見を聴き、大会に関連する取組に反映します。
- 大会ロゴやメダルデザインについて、子どもなど様々な人々と一緒に制作しました。
- 大会のマスコット制作に子どもたちの意見を反映し、ネーミング投票を実施しました。



#### 【主な今後の取組内容】

- 子どもたちが記者として、選手、関係者、イベントの取材を行い、取材内容をまとめて発信する、「こども記者プログラム(仮称)」を実施します。
- 選手等のエスコートなど、大会運営に子どもたちが直接参加して、選手・関係者をサポートする機会を作ります。
- 大会中、世界陸上の仕事や資機材など、普段は見られないエリアなど大会の裏側を見学できる機会をつくれます。

## ■ 東京モデル～明日への希望と持続可能な未来へのステップ～

### こどもたちへの観戦機会等の提供

- 都内や東日本大震災の被災地のこどもたちに大会を観戦する機会を提供し、夢や希望を育む契機にしていきます。
- こどもたちと陸上アスリート等との交流や競技体験、競技についての学び等を通じて、スポーツの素晴らしさに触れ、世界の人々をより身近に感じられる機会を提供し、こどもの学び・成長を支援します。

### 【主な取組の内容】

- 臨場感あふれる会場での観戦を通じて、こどもたちにスポーツの素晴らしさや夢と希望を届けるため、都内や被災地(岩手県・宮城県・福島県・石川県)のこどもたちを競技観戦に招待します。
- こどもを対象としたアスリートとの交流会や走り方教室など、こどもが様々なスポーツを体験できるイベントなどを展開します。大会期間中には、国立競技場を会場としたこども向けの陸上教室や競技体験などを実施します。
- イベントで立ち幅跳びやターゲットスロー等の体験ブースを展開します。
- 「走る・跳ぶ・投げる・歩く」といった陸上の基本動作を軸とした、陸上を身近に感じられる日本陸連イベントとの連携
  - ・キッズデカスロンチャレンジ®
  - ・SPEED STAR 30m Dash Challenge
- 陸上競技の解説や上達するためのトレーニングを紹介する冊子を配布します。
- 世界陸上の記録、備品、歴史等の展示・体験スペースを設置します。
- こどもからのメッセージを集め、選手に届けるとともに、会場での盛り上げなどに活用します。
- 大会デザインのリレー用バトンを都内の小学校に寄贈します。



## ～ 取組のピックアップ紹介 ～

### ■ 大会ロゴの開発

- 大会ロゴデザイン募集にあたり、ジュニア陸上選手へのインタビューを行いました。
- 小学生を中心としたこどもたちにもロゴ作成を体験いただく企画を実施しました。



### ■ 大会マスコットの開発

- こどもたちが身近に感じられるマスコットとするため、開発前に小学生の声を聴取し、デザインに反映しました。
- 都民、国民に親しまれるネーミングとするため、ネーミングについて投票を実施しました。



(大会マスコット)

りくワン(Riku One)



## ～ 取組のピックアップ紹介 ～

### ■ バトンプロジェクト

- 都内全小学校にリレー用バトンを寄贈することで、スポーツが持つ価値を次世代に継承する契機とするとともに、大会へのこどもたちの認知や関心を高めることで、大会気運の醸成につなげていきます。
- テレビ放送、大会アンバサダー、マスコット等を活用して、本事業を広く発信し効果的に気運醸成を図る観点から、株式会社TBSと共同で本事業を実施します。
- 東京2025世界陸上 オリジナルバトン(8本セット)や、アスリートアンバサダーからこどもたちへのメッセージカード等を寄贈します。



### ■ こども記者プログラム(仮称)

- こどもたちが記者として、選手、関係者、イベントの取材を行い、取材内容をまとめて発信する、「こども記者プログラム(仮称)」を実施します。
- こどもたちが作成した記事は、東京都の媒体等を通じて発信します。



## ～ 取組のピックアップ紹介 ～

### こどもワークショップの概要

- こどもたちが大会でやってみたいことや、よりよい大会にするためのアイデアを話し合う「こどもワークショップ」を開催し、こどもたちから意見・アイデアを貰いました。

#### テーマ

東京2025世界陸上  
～大会を通じて、わたしたちが実現できること～

#### 日程

2024年8月20日 13時から16時まで

#### 場所

国立競技場

#### 参加人数

18名(小学生9名、中学生9名)

#### 意見を聴いた内容

(小学生)

- ①大会を通じたスポーツ体験
- ②選手へ応援の気持ちを伝える取組

(中学生)

- ③大会の運営に参加する取組
- ④環境にやさしい大会の実現



## こどもワークショップの意見・アイデアに応える取組

### ①大会を通じたスポーツ体験

#### 【主な意見・アイデア】

- 有名人やアイドルグループに体験・発信してもらおうとみんなが競技を体験したくなる(小5)

#### 【主な取組の内容】

- 織田裕二さん、北口榛花選手、サニブラウン選手などをアンバサダーに起用し、テレビ番組と連携するなどキャンペーンを展開します。

### ②選手へ応援の気持ちを伝える取組

#### 【主な意見・アイデア】

- (歓迎の気持ちを伝えるのに)日本ならではのものを使えるとよい(小4)

#### 【主な取組の内容】

- 歓迎・応援の気持ちを伝える日本・東京ならではのおもてなしとして、生け花展示等、日本の文化について鑑賞・体験できる機会を設けます。

### ③大会の運営に参加する取組

#### 【主な意見・アイデア】

- 大会にかかわる式典など、大会運営に参加してみたい(中1)

#### 【主な取組の内容】

- 選手等のエスコートなど、大会運営にこどもたちが直接参加して、選手・関係者をサポートする機会をつくります。

### ④環境にやさしい大会の実現

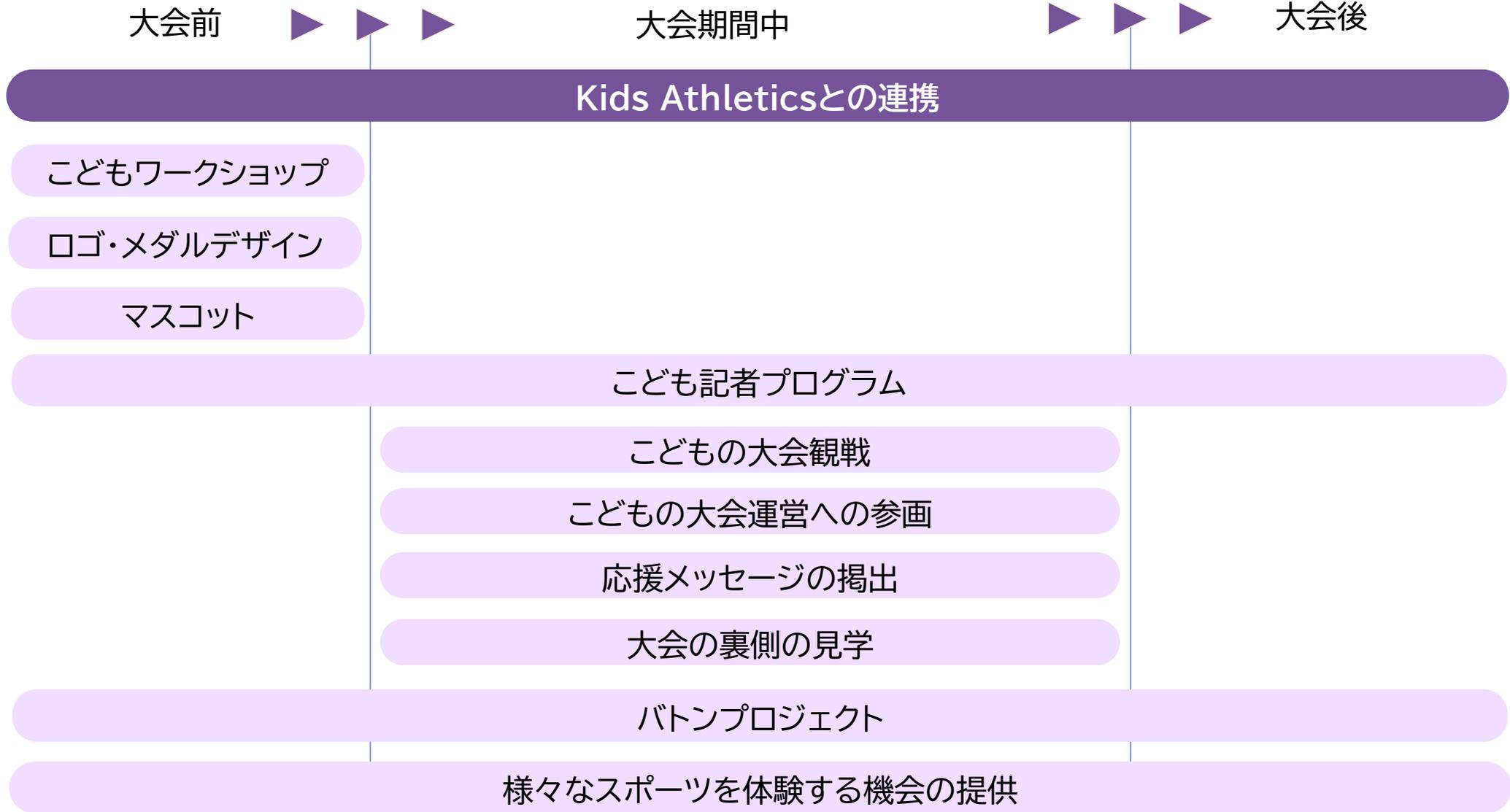
#### 【主な意見・アイデア】

- マイボトルを持ってきてプラスチック削減(中3)
- 競技後にゴミを拾う観客の姿が話題になって世界に広がるという(中2)

#### 【主な取組の内容】

- 来場者にマイボトルを推奨するとともに、ペットボトルの水平リサイクル、ゴミ拾いイベントなどを実施します。

## ロードマップ



次世代への価値の継承